

発 言 通 告 書

発言者氏名	高橋いずみ
発言の会議	令和８年　８月２７日　本会議
発言の種類	質　疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討　論、その他
質疑等の方式	一　括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市　長

【件名及び発言の要旨】

Ⅰ　若者支援政策について

(1)　相談窓口について

ア　現在、本市が設置している若者向けの相談窓口が、支援を必要とする若者本人に十分に認知され、必要な人に情報が届いているかについて

イ　若者が日常的に利用する場所への出張窓口の設置やＳＮＳ等を活用し、相談に至る前の段階から若者との接点をつくり、信頼関係を構築することで、困難を抱えた場合に早期に必要な支援へつなげる取組を推進することについて

(2)　プレコンセプションケアについて

ア　プレコンセプションケアを、妊娠・出産を希望する人だけを対象とするのではなく、若者が自らの健康と将来のライフデザインを考えるための若者支援政策として位置づけることについて

イ　教育機関、医療機関、助産師や保健師等と連携し、若者がプレコンセプションケアを学び、気軽に相談できる機会を拡充することについて

(3) カフェ型ユースクリニックの設置について

ア 若者が相談を目的としなくても気軽に立ち寄ることができ、日常的な関わりの中から専門職につながるができる、居場所兼相談拠点の必要性について

イ 既存施設等を活用し、イベントなどの定期的な試行実施などにより効果を検証しながら、若者の居場所機能、相談機能、プレコンセプションケアを含む健康支援機能を組み合わせたカフェ型ユースクリニックをモデル事業として取り組むことについて

2 妊娠初期における子宮頸がん検診について

- (1) 市民健診の実施期間外に妊娠した場合を含め、妊娠した時期にかかわらず、できる限り負担を抑えて必要な検査を受けられる仕組みを整えることについて
- (2) 検診の結果、精密検査が必要となった妊婦に、医師会等と連携し、必要に応じて受診勧奨を行うなど、検査につなげる体制を構築することについて

3 診療報酬改定に伴う救急医療センターへの影響について

- (1) 本市の一次救急医療を担う拠点として、救急医療センターが果たしている役割に対する評価について
- (2) 診療報酬改定が救急医療センターの運営に及ぼす影響について
- (3) 本市の一次救急医療体制を今後も安定的に維持するため、指定管理者と協議し対応を検討する必要性について

4 連携協定による地域課題の解決について

- (1) 関東学院大学、横須賀海上保安部、県立海洋科学高校及び本

市が連携して実施した、ドローンとＡＩ技術を活用した密漁対策の実証実験の成果と関東学院大学との連携協定の重要性の認識について

- (2) 本市におけるイノシシによる農作物被害の状況の把握について
- (3) 実証実験で成果を上げているドローンシステム等の技術を応用し、イノシシの生息状況等をより効率的に把握することについて
- (4) 関東学院大学との連携を今後の市政にどのように生かし、発展させていくかについて